

t分析



図1: 街区マップ

断面図から、イメージマップの領域の色を細分化する方法を模った。私たちが感じたイメージマップの領域を輪切りにする事で、建物の前述以外で、建物と建物の間隔や、密度から領域が成り立っているのかという事に気づいた。



図2: 断面マップ

建物の間隔以外にも建物の面る側い方が領域に影響する
と考える。建物の面る側い方を矢印の向きと大きさで示した。

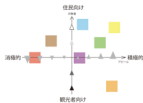


図3: 建物の面る側い

建物の人に対する面る側い方(誰を対象にしているか)という指標をY軸にとり、道や空地に対しての面る側い方(開けているか、閉じているか)をX軸指標にとる事で建物の面る側い方から場所の特徴を導きだした。

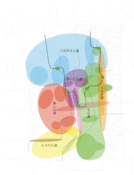


図4: 断面マップ

今ある形りに加えて、私たちの目標からまち全体に様々な色づけがあると感じ、形りの多さがこのまちの魅力であると考えた。景観が失わなくしている住民の方々にもこの形りを体験してもらいたいと考え、今ある色を模倣する事で、どのような場面を体験できるのが提示し、私たちが感じた魅力を伝えたい。

uある日のお母さんの道のり



ご近所さん道



酔いどれ道



昼下がり道



空道



小見世道



風道



ご近所さん道